令和５年度　浅草小学校授業改善推進プラン

第１学年

1　浅草小探究モデルにおける児童の実態

Ⅰつかむ、見通す	A 課題作り	提示した課題に対して、意欲的に取り組んでいる。自分で課題を見付けられるように学級全体で教師と共に課題作りを行い、課題の作り方を学習している。
	B 学習計画を立てる	「～をやりたい」という思いや願いをもっている児童が多い。学級全体での話合いを通して、学習計画を立てて学習を深めていく経験を積み重ねている。
Ⅱ考える、つなげる	A 自分の考えをもつ	自分の考えに自信がもてない姿が見られる。発言する児童は決まっているが、友達の発言を聞いて、「なるほど」「いい考えだね」等、反応できる児童が多い。
	B 他者の考えを知り関連付ける	ペアやグループで対話することに意欲的である。自分の考えを伝えることはできる。友達の考えを聞いて、「なるほど」「いい考えだね」と一言返すことはできるが、相手の話を受けて考えをさらに深めるための対話には至らないこともある。
Ⅲ創る、活かす	A まとめる振り返る	振り返りやまとめの書き方を学習している。授業の振り返りから次時のめあてをもつ等、学級全体で行っている。
	B 活かす	既習事項を生かして課題に取り組む児童が多い。

2　目指す児童の姿

①学びに取り組む姿	②対話の姿	③探究する姿
学習に対して課題意識をもち、意欲的に取り組む。	友達の考えを聴き、自分の考えを伝え、よさを見付ける。	自己の学びを振り返り、次の学びに活かそうとする。

3　授業改善に向けての具体的な方策

Ⅰつかむ、見通す	A 課題作り	・児童の実態に合わせた教材・資料を活用する。 ・既習事項を振り返ることのできる資料を掲示する。
	B 学習計画を立てる	・個々の思いや願いを取り入れながら、単元や１単位時間の学習計画を立てる。 ・学習計画の視覚化を図る。
Ⅱ考える、つなげる	A 自分の考えをもつ	・教師の指示を端的にしたり、視覚化したりする。思考の流れが分かるように板書を構造化したり、ICT 機器を使って構造的に示したりする。 ・表現の仕方が分かるように、例を示す。 ・対話を通して、友達の多様な考えに触れることで、児童が様々な表現方法を知ることができるようにする。
	B 他者の考えを知り関連付ける	・相手意識、目的意識をもたせる。 ・ペア、グループ等、様々な対話を取り入れる。 ・発表に共感する言葉を学級で集めていく。
Ⅲ創る、活かす	A まとめる振り返る	・振り返りの時間を十分に確保する。 ・個々の振り返りを学級で共有し、違いに気付かせる。
	B 活かす	・既習事項との共通点や相違点を見付けて活用する。 ・学習の振り返りを生かし、次時のめあてを設定する。